

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査書

| | | | | | |
|-------|-------------|--------|--|---------|---------------------|
| 都道府県名 | 長崎県 | 事業実施主体 | 長崎県、杵崎市、平戸市 | 地域再生計画名 | 杵岐・平戸の相互供給による販路拡大計画 |
| 計画期間 | 令和1年度～令和7年度 | 評価責任者 | 長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長、平戸市建設部水産課長、杵崎市農林水産部水産課長 | | |

| | 指標 | 基準値 | | 中間目標値 | | 最終目標値 | | 中間評価 | 達成状況 | | 中間目標値の実現状況に関する評価 | |
|-----------------------|--|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|---|--|-----------|------|------|-----|------------------|--|
| | | 基準年度 | | 年度 | 中間実績 | 基準年度 | | | 指標総数 | 達成数 | | |
| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標1 勝本地区主要観光施設の利用者数の増加 | 41,730人/年 | H29 | 43,519人/年 | R4 | 42,482人/年 | 44,711人/年 | R7 | × | 5 | 0 | 中間目標値を1,037人下回っているが、R2～R3の新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者数低迷から復調傾向にあり、事業進捗を図ることにより最終目標達成を目指していく。 |
| | 指標2 平戸市漁協の水揚げ量の増加 | 1,694百万円 | H29 | 1,720百万円 | R4 | 944百万円 | 1,739百万円 | R7 | × | 5 | 0 | 中間目標値を776百万円下回っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる。目標値まで約795百万円の売上額の増加が必要であるが、同感染症拡大の影響が緩和されれば目標達成は可能であると考えられる。 |
| | 指標3 平戸瀬戸市場の売上額の増加 | 954百万円 | H29 | 940百万円 | R4 | 868百万円 | 976百万円 | R7 | × | 5 | 0 | 中間目標値を72百万円下回っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる。目標値まで約108百万円の売上額の増加が必要であるが、同感染症拡大の影響が緩和されれば目標達成は可能であると考えられる。 |
| | 指標4 観光客の増加（勝本港遊覧船利用人数） | 19,065人/年 | H29 | 23,363人/年 | R4 | 19,567人/年 | 25,365人/年 | R7 | × | 5 | 0 | 中間目標値を3,796人下回っているが、R2～R3の新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者数低迷から復調傾向にあり、事業進捗を図ることにより最終目標達成を目指していく。 |
| | 指標5 漁業所得の向上（平戸市漁協の漁業所得） | 2,559千円/人 | H29 | 2,723千円/人 | R4 | 2,377千円/人 | 2,817千円/人 | R7 | × | 5 | 0 | 中間目標値を346千円/人下回っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものと考えられる。目標値まで約440千円/人の売上額の増加が必要であるが、同感染症拡大の影響が緩和されれば目標達成は可能であると考えられる。 |
| ②事業の進捗状況 | 事業名 | 整備量（その他の事業では取組内容） | | | 事業の進捗状況に関する評価 | | | | | | | |
| | | 計画 | 中間年度（R4） | 最終実績見込み | | | | | | | | |
| 特別措置を適用して行う事業 | 港湾施設（平戸港） 浮棧橋（改良） 防波堤（南） 防波堤（北）（改良） | 1基 30m 114m | 1基 7m 114m | 1基 30m 114m | 概ね計画通りに整備進捗が図られている。今後も引き続き、計画に則した整備を目指していく。 | | | | | | | |
| | 漁港施設（度島漁港） 突堤（改良） -3m岸壁A（改良） 用地（改良） 道路（改良） -2m物揚場（改良） | 85m 120m 683m2 17m 130m | 76m 0m 0m2 0m 0m | 85m 120m 683m2 17m 130m | R4も突堤（改良）の整備を継続して施工し、R5で完成予定で、R5から係留施設に着手予定である。 | | | | | | | |
| | 漁港施設（新大久保漁港） -2.0m物揚場 | 55m | 55m | 55m | 当初計画のとおり整備が完了した。 | | | | | | | |
| | 漁港施設（堤漁港） A物揚場 B物揚場 | 96m 126m | 87m 114.5m | 87m 126m | 当初計画に対し、整備延長からみる進捗率は90.7%であるものの、A物揚場は利用者（漁業者）との立会により整備延長を96mから87mとし整備完了している。引き続き整備を行うこととしており、計画に則した整備を目指す。 | | | | | | | |
| | 漁港施設（猪渡谷漁港） A物揚場 B物揚場 | 58m 40m | 58m 40m | 58m 40m | 当初計画のとおり整備が完了した。 | | | | | | | |
| | 港湾施設（勝本港） （塩谷地区） 物揚場（-3.0m）（A） 物揚場（-3.0m）（B） 浮棧橋 道路（改良） | 132m 89m 1基 250m | 88m 40m 0.1基 34m | 132m 89m 1基 250m | 概ね計画どおり整備進捗が図られている。 | | | | | | | |
| | 港湾施設（郷ノ浦港） （郷ノ浦地区） 浮棧橋 浮棧橋（JF）（改良） 可動橋（B）（改良） 緑地（改良） | 1基 1基 1基 1式 | 0.2基 0.2基 0.1基 0式 | 1基 1基 1基 1式 | 浮棧橋：進捗率46%であるが、浮棧橋の資材単価等の上昇により事業費が増加したことで進捗に若干の遅れが生じている。コスト削減に引き続き取り組む必要がある。 | | | | | | | |
| | その他の事業 | 古民家散策と世界遺産中江ノ島クルーズ | 世界遺産や資産を活用した地域活性化 | | | 国の文化財である重要伝統的建造物群保存地区に選定された「平戸大島村神浦の古民家散策」と世界遺産に登録された潜伏キリシタンの整地「中江ノ島」を周遊する事業。平戸港を発着地点として実施予定にしている。 | | | | | | |
| 浜の魅力発信、漁業就業促進総合支援事業 | | 担い手育成 | | | 関係機関で組織する平戸市漁業担い手確保支援協議会で承認された新規漁業者（Uターン者、漁家子弟）の定住促進を図るため生活費等の支援を実施する。 | | | | | | | |
| 平戸瀬戸市場 新米・新あご祭り | | 地域の特産を活用した地域活性化 | | | 平戸市の主力特産品である「あご（トビウオ）」や同時期に収穫される「新米」（世界文化遺産構成地の春日集落で作られた棚田米等）をメインとする平戸産品をお買い求めやすく販売するイベント。平戸の玄関口である平戸瀬戸市場で実施している。 | | | | | | | |
| 平戸特産の水産物による魚まつり | | 地域の特産を活用した地域活性化 | | | 平戸市で四季折々に水揚げされる代表的な水産物をメインとして、春は「平戸天然ひらめまつり」、秋は「平戸天然あらなべ祭り」「いきいき勇魚（鯨）まつり」などを開催している。 | | | | | | | |
| 辰の島巡り遊覧と渡船 | | 辰の島周辺の遊覧船・海水浴場への渡船運航 | | | 勝本町の観光資源である辰の島周辺の奇岩・断崖絶壁を望む遊覧観光船、海水浴場への渡船を運航し、勝本港周辺の観光振興に寄与した。 | | | | | | | |
| 杵崎市勝本浦地区街なみ整備事業 | | 歴史を生かした街なみ景観形成に向けた建物整備への補助 | | | 勝本港周辺地区の観光資源である勝本浦の歴史を活かした街なみ景観形成に向けて、建築物等の屋根や外壁改修を行うものに対し補助金を交付した。（R3年度で終了） | | | | | | | |
| 遊覧船の待合所・直売所の建設 | | 本事業と連携した埋立地への遊覧船待合所、直売所を建設 | | | 本事業での埋立て完了後の建設に向けて、配置計画等の検討を進めた。 | | | | | | | |
| 杵岐の島夜空の祭典 | | 花火大会の実施 | | | 市民の親睦および観光振興に寄与するイベントを実施した。（R2、R3は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止） | | | | | | | |
| 勝本朝市まつり | 勝本朝市に関するイベントの実施 | | | 勝本朝市のPR、観光客及び地域の交流を図るイベントを実施した。 | | | | | | | | |
| 計画外で独自に実施した事業 | | | | | | | | | | | | |
| ③評価方法 | まち・ひと・しごと創生対策懇話会を開催し、評価・検討等を行う予定としている。 | | | | | | | | | | | |
| ④中間評価の公表方法 | 長崎県のホームページに掲載 | | | | | | | | | | | |
| ⑤計画全体の総評価 | 本地域再生計画では、港整備交付金事業を活用した港湾および漁港施設の整備・再編と同時に、直売所などの観光施設を合わせて整備することで、各地域の特産物を相互供給することにより互いの地域の販路拡大を図る。また、福岡等の都市圏から世界遺産や日本遺産のそれぞれの地域を訪れる観光客に、もう一方の観光名所や海産物をPRし、各地域の観光客数、観光消費額の増加を目指していくものである。なお、すべての指標において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中間目標が達成できていない状況であるが、この影響が軽減されたことにより観光客数や漁獲物の需要が回復してきているため、引き続き事業進捗を図り、早期効果発現を図る。 | | | | | | | | | | | |
| ⑥今後の方針等 | 中間評価結果の反映状況 | | | | 有りの場合その具体的な内容 | | | | | | | |
| | 地域再生計画の見直し（有・無） 令和5年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円 | | | | 近年の物価上昇に伴い、資機材や労務単価が上がっているため、計画事業を見直す必要がある。 | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等に対する対応 | ●資機材や労務単価の上昇等に伴う事業費の見直し ・総事業費 現計画事業費3,432,550千円⇒見直し後3,589,464千円[156,914千円（うち交付金86,675千円）] | | | | | | | | | | | |